

安全上のご注意

必ずお守りください



attention

使用前に必ず取扱説明書を読み、一度組み立ててください。

キャンプに出掛ける前に、取扱説明書通りに付属品がセットされているかを確認し、必ず一度組み立ててください。

警告



- ・テント内では換気に十分注意し、時々換気を行ってください。
- ・テントの中やテント近くでは、絶対に火気の使用をしないでください。
- ・キャンプ場やキャンプ許可地域以外では使用しない。
- ・取扱説明書をお読みになった後は、お使いになられる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

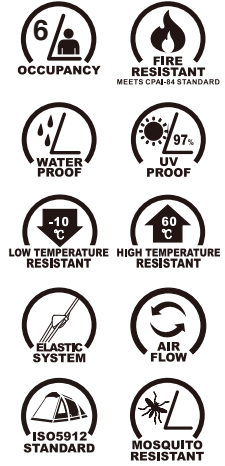
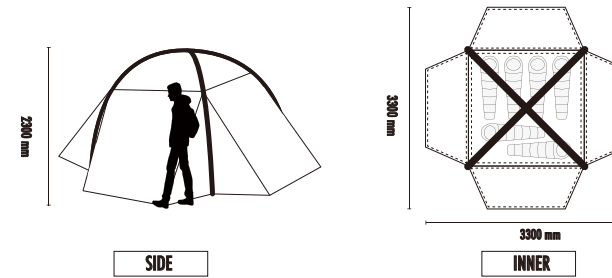
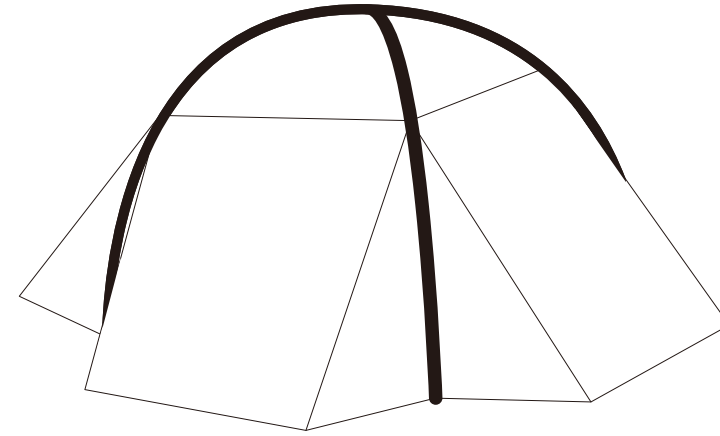
注意

- ・水辺には設けしない。(急な水かさの増量により、重大な事故の原因)
- ・ペグで地面に固定する。(テントが風で飛ばされ、けがの原因)
- ・ランタンは電池式以外は使用しない。(不完全燃焼による事故の原因)
- ・強風時は、ランタンを吊るさない。(落下によるけがの原因)

快適にお使いになるために

- 保管について修理を依頼される場合には、汚れを極力おとし、乾燥させた状態で、お買い上げになったお店に修理箇所を明記の上、ご相談ください。なお、修理費用につきましては、現品確認の上、算出させていただきます。この往復の運賃は、お客様のご負担とさせていただきます。
- 修理について本製品は、厳密な品質管理体制の下、弊社の技術と長年の経験を生かして製造されております。万一、品質不良が認められた場合には、無料にて修理または新品と交換させていただきます。弊社の「お客様相談室」までご一報くださいますようお願い致します。ただし、次のような場合は、有償修理となります。1 商品用途以外のご使用および不当な修理や改造による故障・2 台、地、火災、水害などの天災による故障・損 1 ご使用後のキズ、変色、汚れおよび保管上の不備による損傷
- 取扱説明書を無視した使用による故障・損 AG 紫外線などによる生地の変色
- 保管方法 (ご使用後は、完全に乾燥させてから、日光の当たらない風通しの良いところに保管してください。) 1 幕体の汚れを落とす場合は、水で洗い流すか、乾燥した状態でブラシなどで払い落としてください。ひどい汚れの場合には中性洗剤を水で薄め、汚れた部分をスポンジなどで軽くこすった後、水で洗い流してください。ただし、強い液性の洗剤を使用したり、強くこすったりすると、生地外側の撥水加工 (テフロン加工を含む) が極端に低下しますので、ご注意ください。◎生地の外側を洗う時には、内側の防水コーティング面を傷つけないように注意してください。洗濯機で洗濯したり地面にこすりつけたりすると、コーティング面が傷つくことがあります。また、シンナーやベンジンなどの薬品は絶対に使用しないでください。なお、濡れたまま放置しておく、カビが発生したり、含まれている水分が腐って悪臭の原因ともなります。3 チューブの外側生地も完全に乾燥させ、付着した泥などを拭き取って収納してください。◎本体を濡れたまま車のトランクのような、高温になる場所に放置しておく、色移りや生地の変化などが生じます。なるべく早く完全に乾燥させてから日光の当たらない風通しの良いところに保管してください。

◎製品改良のため予告なくデザイン・仕様を変更する場合があります。



AIR FRAME TENT


Product number	HAND-06 Xframe series	
Size	L : 3,300mm × W : 3,300mm × H : 2,300mm	
Color	PNTONE 9CA	
Material	天幕：防水加工ポリエステル 65D 裏面：PU コーティング (耐水圧 3,000mm)	床シート：ポリエステル 210D (耐水圧 3,000mm)
Pillar	TPU エアーチューブ (QwikFrame® インフレーションシステム) の内部気柱	
Weight	約 17.8 kg	

SET




HAND-06 Xframe series


セット内容




TENT×1




PUMP×1



BAG×1




REPAIR KIT×1



PEG×12

ハンマーをご用意ください



ペグを地面に固定する為に使います。

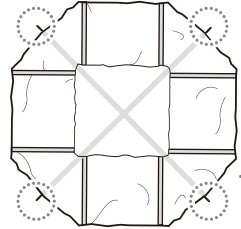
01 テントを広げて、地面に固定する

(風向き、日当り、水はけを考慮して設置場所を決めてください)

風

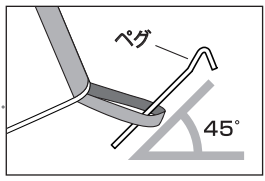
↓

入り口が風下になるようにしてください。



前(入り口)


4隅にペグを打ち込む




02 ポンプでチューブに空気を送り込む

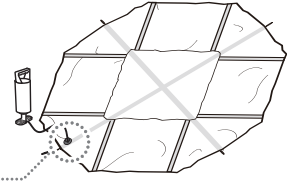
(テントのバルブから空気を入れてください)

① 上蓋を外しバルブにエアーポンプのホースを差し込む



② 空気を入れたらバルブを閉める






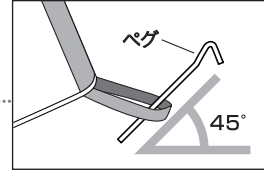
前(入り口)

03 立ち上がったテントをペグで固定する

(たるみが出ないように対角順で固定して下さい)

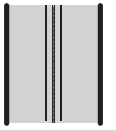


残りのペグを固定する



取扱について

【重要】 チューブカバーのファスナーは開けないでください。
(中のチューブがはみ出て、破損の原因となります。)
＜チューブはテント外側からは見えません。＞



【テント透視図】



チューブ

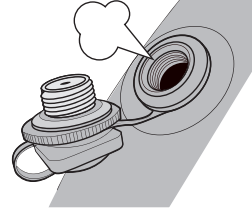


インナーテント

●気温の変化などで、チューブがゆるくなった時、エアーポンプで空気をたしてください。


撤収方法

① バルブをゆるめて空気を抜く。
(一気にゆるめると大きな音が出ます。)

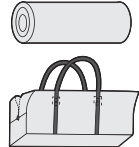



② ペグを抜いてください。

③ テントを空気弁の方向に巻いてチューブに残った空気を抜いてください。



④ テントを収納バックの幅に合わせて折り畳んでください。





注意

勢いよく空気が出るためバルブに顔を近づけないでください。

問い合わせ

〒111-0023
東京都台東区橋場 2-11-10
TEL:03-5811-1705 (月～金 9:00～17:00 土日・祝祭日を除く)

株式会社トライ